

総務課

1 総務関係

市民の安全で安心な暮らしを守るため、小型動力ポンプの更新等、消防力の強化を図ると共に、消火栓ボックスの整備など、地域防災体制の充実に取り組んだ。

消防庁が定めた非常勤消防団員の報酬等の基準に基づき、消防団員の年額報酬及び出動報酬の引上げを行った。また、消防職、団員の資質向上のため、兵庫県消防学校への派遣教育、救急救命士の養成、各種資格の取得及び研修訓練を実施し、防災体制の確立に努めた。

吉川分署移転建替えに伴う新庁舎建設工事の実施設計を行った。

(1) 令和5年度主要事業

月 日	事業名	場 所	概 要
4月2日	三木市消防大会	消防本部	三木市文化会館小ホールにて、消防関係者518名が参加し、開催した。式典では、消防功労者及び退職消防団員に表彰及び感謝状を代表授与した。
4月16日	消防団教養訓練実施	消防本部	三木市消防本部において、消防団員の教養訓練を実施。訓練礼式、消防資機材取扱い等を行い、団員の技術向上と士気の高揚を図った。
5月18日	熱中症予防講習会	消防本部	北播磨総合医療センターから医師を招き、熱中症予防講習会を実施。市民、市内教育機関等の教職員、応急手当普及員及び消防職員計51名が参加した。
5月30日 ～31日	水防訓練	消防本部	消防緊急指令システムと市水防計画に基づく初動体制の確立、各担当部署の連絡体制の確認、災害に対応する水防工法（積み土のう・改良積み土のう・釜段）を実施した。
6月4日 ～10日	危険物安全週間	消防本部	危険物災害の未然防止を図るため、「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」を推進標語に、消防総合訓練、懸垂幕等による広報活動、危険物施設への立入検査、危険物の取扱い等に伴う基準適合について指導を実施した。
7月12日	自衛消防訓練教養研修会	消防本部	自衛消防組織の強化を図るため、市内の事業所に対し、消防用設備等の取扱い方法を指導する研修会を実施した。
7月22日	第51回消防救助技術近畿地区指導会	大阪市消防局高度専門教育訓練センター	ロープブリッジ渡過、ロープブリッジ救出の2種目に6人の隊員が出場した。

8月17日 ～18日	甲種防火管理新規講習	消防本部	消防本部で2日間にわたり講習会を開催。事業所等から60名が受講し、講習修了証を交付した。
9月3日 ～9日	「救急の日」及び 「救急医療週間」	消防本部	救急医療及び救急業務に対する市民の正しい理解と認識を深めるために、救急広報ポスターの展示や懸垂幕等による広報活動、FMみっさいを通じて救急医療の現状や救急車の適正利用の普及啓発を実施した。
9月4日 ～5日	令和5年度救急技術錬成会	消防本部	救急医療の専門医師から指導・助言を受けて問題点を検証、共通認識を図ることを目的とし、救急現場を想定した実践的なシミュレーション訓練を実施した。
9月24日	第41回 防災フェスティバル 三木市総合防災訓練	三木山 総合公園	「火災のない明るいまちづくり運動」の一環として本大会を開催し、関係者及び市民約2,000人が参加した。
11月9日 ～15日 3月1日 ～7日	秋の火災予防運動 春の火災予防運動	消防本部	「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を統一標語に、消防総合訓練を実施するとともに、火災予防啓発ポスター入賞作品展示を実施し、火災の未然防止と啓発を行った。
11月13日 ～17日	トライやるウィーク (中学生体験活動)	消防本部	市内4中学校から9名を受け入れ、普通救命講習、救助訓練体験及び防火・防災に対する知識と防災技術の習得を図った。
12月13日 ～14日	令和5年度警防錬成会	消防本部	消防本部訓練場において、火災現場における即応能力及び消火技術の向上を目的に警防錬成会を実施した。
12月27日 ～1月5日	年末年始火災特別警戒実施	消防本部	看板設置・広報パトロール及び消防団夜間特別警戒を実施した。
1月21日	文化財防火訓練	吉川町福吉 東光寺	文化財への火災予防の周知及び防火意識の高揚並びに消防隊員の初動体制の確立と消防技術の向上を目的として実施した。
3月3日	消防団機動隊合同訓練	志染町戸田	消防署・兵庫県消防防災航空隊と連携し、山林での搜索合同訓練を実施した。
年間	住宅用火災警報器設置推進	三木市内	住宅用火災警報器の設置推進と維持管理の啓発を図るため、職員及び女性消防団員が連携し、主要行事や大型商業施設の店頭などで、広報活動を実施した。

(2) 消防施設整備事業

事業名	数量	設置場所等	事業費等(円)	備考
消火栓ボックスセット	14	市内5地区	937,860	補助
消火栓ボックス	1	市内1地区	15,950	補助
ホース干し	2	井上、市野瀬	2,965,050	補助
サイレン修繕	1	東吉田	49,500	補助
器具庫修繕	3	市内3地区	797,580	市単、補助
小型動力ポンプ(B-3級)	3	平井、南畑、三津田	6,688,000	石対
解体撤去工事	1	吉川分署移転先 (旧よかわ幼稚園)	25,146,000	緊防債
建設工事実施設計業務委託	1	吉川分署新庁舎 (旧よかわ幼稚園跡)	17,171,000	緊防債

(3) 派遣職員等

研修名	期間	人員 (人)	研修名	期間	人員 (人)
初任教育	6ヶ月	4	惨事ストレス研修	2日	1
専科教育特殊災害科	10日	1	兵庫県災害医療センター 救急救命士研修	6日	6
専科教育予防査察科	10日	1	兵庫県立加古川医療セン ター 救急救命士研修	6日	6
専科教育火災調査科	10日	1	医療従事者蘇生トレーニン グコース(ICLS)	1日	2
専科教育救急科	38日	3	発想力・行動力向上研修	1日	1
専科教育救助科	22日	1	若手職員研修	2日	2
特別教育災害現場指揮科	3日	1	管理職研修	2日	4
特別教育通信指令科	5日	1	監督職研修	3日	2
幹部教育上級幹部科	3日	1	再任用職員研修	1日	1
実火災体験型訓練	半日	10	安全運転管理者講習	1日	2
ポンプ操法研修(小型)	半日	1	衛生推進者養成講習会	1日	2
ポンプ操法研修(ポンプ車)	半日	1	消防職員安全衛生管理者 研修	2日	1
救急救命士養成課程	7ヶ月	1	パソコン研修	2日	4
救急救命東京研修所 救急救命士研修課程	6ヶ月	1			

(4) 職員配置状況

(単位:人)

階級 所属	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
消防本部・署	1	13	13	15 (5)	5	19	66 (5)
広 野 分 署		1	4	4	1	4	14
吉 川 分 署		1	6	3		8	18
計	1	15	23	22 (5)	6	31	98 (5)

() 内は再任用者数

予防課

1 予防関係

市民の防火意識を高め、火災を予防するため、秋・春の火災予防運動を中心に防火教室、消防訓練、消防展の開催、広報パトロール、広報誌の発行等の事業を実施するとともに、住宅用火災警報器の設置・維持管理に向けての啓発活動を行った。また、事業所の防火体制の充実を図るために予防査察を実施し、消防用設備等の維持管理、自衛消防訓練、防火管理等の徹底、違反是正等の指導に努めた。

(1) 火災予防運動等

ア 秋の火災予防運動（令和5年11月9日～15日）

【実施した主な行事】

消防総合訓練、吉川分署・消防団合同訓練、防火教室及び消防訓練指導、火災予防啓発ポスターの募集・表彰・作品展示、事業所等の予防査察、防火広報パトロール、火災予防キャンペーン

イ 春の火災予防運動（令和6年3月1日～7日）

【実施した主な行事】

神戸市北消防署林野火災防衛合同訓練、消防団機動隊合同訓練、山火事防止立看板の設置、消防訓練指導、防火広報パトロール、火災予防キャンペーン、事業所等の予防査察

(2) 広報広聴

ア 消防広報

種 別	回 数 等	種 別	回 数 等
広報「みき」掲載	12回	「救急の日」ポスター配布	180枚
「防火の日」新聞掲載	15回	防火広報パトロール	105回
防火ポスターの配布	2,000枚	火災予防啓発ポスター応募	627点

イ 火災予防・消防訓練等講習会

種 別	回 数 等	参 加 人 員	対 象
消防訓練等指導	88	7,423	学校・病院・事業所等
防火団体指導	17	2,171	防火クラブ
甲種防火管理新規講習	1	60	事業所等
自衛消防訓練教養研修会	1	48	市内事業所
一日消防士研修会	1	31	市内事業所
危険物取扱者養成講習会	1	18	市内事業所

ウ 要望・苦情・相談

種 別	件 数	種 別	件 数
消防水利の管理	5	消防設備の管理	0
枯草放置・火の不始末	0	危険物の安全管理	0
怪煙・煙火・悪臭	7	その他	5
計			17

(3) 予防査察実施状況

(単位：棟)

用途		区分	防火対象物数	査察実施件数	防選対象物 火任義務 管理者数	防選 火任 管理者 数	消届 防出 計画 数
合計			2,577	784	700	620	620
(1)	イ	劇場・映画館等	9	10	8	8	8
	ロ	公会堂又は集会場	125	14	172	129	129
(2)	イ	キャバレー・カフェ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	1	3	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ	カラオケボックス等	2	2	2	2	2
(3)	イ	待合・料理店等	2		1	1	1
	ロ	飲食店	51	65	73	49	49
(4)		百貨店・マーケット・店舗	110	57	83	82	82
(5)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	16	52	6	6	6
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	409	20	23	23	23
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	51	19	9	9	9
	ロ	養老・救護・更生施設等	35	36	23	23	23
	ハ	老人デイサービスセンター等	63	74	31	31	31
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9	1	6	6	6
(7)		小・中・高校・大学等	94	54	26	26	26
(8)		図書館・博物館・美術館	6	3	3	3	3
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場					
	ロ	上記以外の公衆浴場	4	4	2	2	2
(10)		車両停車場・船舶発着場	2	1			
(11)		神社・寺院・教会等	61	2	17	16	16
(12)	イ	工場又は作業場	563	127	49	49	49
	ロ	映画・テレビスタジオ					
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	34	15			
	ロ	飛行機・ヘリコプター格納庫	1				
(14)		倉庫	318	66	5	5	5
(15)		前各号に該当しない事業所	381	120	57	57	57
(16)	イ	特定防火対象物複合用途	140	33	91	80	80
	ロ	上記以外の複合用途	72	6	7	7	7
(16の2)		地下街					
(16の3)		準地下街					
(17)		重要文化財等	16	2	3	3	3
(18)		延長50m以上のアーケード					
(19)		市町村長の指定する山林					
(20)		総務省令で定める舟車					

(4) 建築同意処理状況

内 容	同 意		不 同 意	審 査 不 能	計
	指 導 有	指 導 無			
新 築	49	14	0	0	63
増・改 築	13	2	0	0	15
移 転	0	0	0	0	0
用途変更等	0	0	0	0	0
計	62	16	0	0	78

(5) 消防用設備等設置届出書届出数

設 備	届出数	設 備	届出数	設 備	届出数
消火器	58	自動火災報知設備	90	火災通報装置	4
屋内消火栓設備	7	非常放送設備	8	避難設備・器具	2
屋外消火栓設備	2	非常警報設備・器具	5	誘導灯・標識	79
スプリンクラー設備	7	ガス漏れ火災警報設備	1		
計					263

(6) 届出処理状況

届 出 物 件	届出数	届 出 物 件	届出数	届 出 物 件	届出数
防火対象物使用開始届	72	危険物品持込・喫煙承認	25	催し物開催	32
消防用設備等着工届	83	少量危険物貯蔵取扱	10	露店等の開設届	84
消防用設備等工事計画書	54	少量危険物貯蔵廃止届	4	道路工事	152
防火対象物変更届	44	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・廃止	10	水道断水・減水	13
防火管理者選解任届	171	発電設備	2	火災とまぎらわしい行為等	288
消防計画	204	変電設備	12	火災損害（事故届含）	42
改修計画	159	蓄電池設備	7	り災証明願	23
消防用設備等点検結果報告	678	給湯設備・ボイラー	6	り災証明等	41
防火対象物点検結果報告	79	炉・かまど	1	要望・苦情・相談等	17
自衛消防訓練通知	409	自衛消防組織設置変更届	1	都計法関係届	29
自衛消防訓練実施結果報告	230	防災管理者選解任届	3		
消防用設備等特例適用願	5	煙火打ち上げ	6		
計					2,996

2 危険物関係

危険物による災害を未然に防止するため、危険物を貯蔵し取扱う施設の設置や変更時に、法令の定めるところにより許可審査や完成検査を行うとともに、既存の施設に対しては立入検査を通じ適正な貯蔵取扱い指導を行った。また、危険物安全週間等を通じて、危険物に対する正しい知識と危険物の適正な取扱いについて周知徹底を図った。

(1) 危険物製造所等の設置状況

(単位:件)

施設数	製造所等の 区分	計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所					
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油		販 売		一 般
											自 家	営 業	第 一 種	第 二 種	
令和4年度末数		274	3	71	10	1	57		25	2	50	20			35
令和 5年度	新設 (転入含む)	6		2			1		1						2
	廃止 (転出含む)	3					2		1						
令和5年度末数		277	3	73	10	1	56		25	2	50	20			37

(2) 危険物製造所等の申請・届出処理状況

(単位:件)

種 別	製造所 区分	計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			許 可 施 設 外	
				屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売		一 般
許可	設置	4		2						1		1		
	変更	14	2	2								5		5
完成 検査	設置	6		2			1		1					2
	変更	12	2	2								6		2
仮使用		12		2								5		5
水圧・水張検査		123												123
廃止 (転出含む)		3					2		1					
種類数量変更		1												1
軽微変更		70	3	11			11					42		3
保安 選任		17		4	3							7		3
監督者 解任		13		1	2							7		3
休止		0												
定期点検報告		31					16					14		1
仮貯蔵・仮取扱等		13												1 12
その他		82	3	6	3		21					38		11

(3) 危険物製造所等の各種調査及び検査状況

(単位:件)

種 別	製造所等の 区分	計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			許 可 施 設 外	
				屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売		一 般
立入検査		140	3	17			15		26			67		12
完成検査		18	2	4			1		1			6		4
完成検査前検査 (水圧・水張)		123												123
中間検査 (地下配管・タンク防水)		4					2					2		
仮貯蔵・仮取扱調査		13												1 12
各種届出に伴う現地調査		73	3	11			13		1			42		3

(4) 危険物手数料収入状況

(単位:円)

区 分	合 計	製造所等の許可・完成検査 及び完成検査前検査				仮貯蔵・仮取扱及び仮使用		
		許 可		完成検査	完成検査前検査 水圧・水張	仮貯蔵	仮取扱	仮使用
		設置	変更※					
件 数	184	4	14	18	123	0	13	12
収入額	2,679,950	118,000	358,500	238,250	1,830,200	0	70,200	64,800

※変更に入転を含む

警防課

1 火災関係

令和5年度中の出火件数は28件で、損害額112,499千円、建物焼損床面積991㎡、林野焼損面積1a、り災世帯16世帯、り災人員33人（うち死者0人、負傷者6人）となっている。

前年と比較すると、出火件数は19件減少で、損害額は71,808千円増加した。

(1) 火災の状況

△印は減少

区 分	単 位	令和5年度	令和4年度	増減
出 火 件 数	件	28	47	△19
建 物	〃	14	17	△3
住 宅	〃	8	7	1
工 場	〃	3	3	
その他	〃	3	7	△4
林 野	〃	0	6	△6
車 両	〃	6	5	1
船 舶	〃	0	0	
その他	〃	8	19	△11
損 害 額	千円	112,499	40,691	71,808
建 物	〃	95,659	26,209	69,450
建 物	〃	57,115	18,334	38,781
収容物	〃	38,544	7,875	30,669
林 野	〃	0	0	
車 両	〃	11,008	4,564	6,444
船 舶	〃	0	0	
その他	〃	5,832	9,918	△4,086
爆 発	〃	0	0	
建物焼損棟数	棟	22	33	△11
全 焼	〃	5	13	△8
半 焼	〃	0	0	
部分焼	〃	8	10	△2
ぼ や	〃	9	10	△1
爆損 損害棟数	棟	0	0	
車両等数	台	0	0	
焼損 建物床面積	㎡	991	1,966	△975
建物表面積	㎡	186	1,342	△1,156
林 野	a	1	80	△79
車 両	台	6	15	△9
船 舶	艇	0	0	
負傷者	人	6	6	
死 者	人	0	1	△1
り災世帯	世帯	16	9	7
全 損	〃	2	2	
半 損	〃	0	0	
小 損	〃	14	7	7

り災人員	人	33	19	14
建物1件当りの損害額	千円	6,833	1,542	5,291
〃 焼損床面積	m ²	71	116	△45

(2) 地区別出火件数

	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他
5年度	4	5	6	0	1	0	2	1	2	5	2
4年度	13	2	9	3	3	1	2	2	0	9	3

(3) 月別出火件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年度	5	3	1	1	3	1	1	5	2	2	1	3
4年度	10	4	5	0	6	0	1	1	4	4	4	8

(4) 出火原因別件数

出火原因	5年度	4年度
たばこ	2	3
こんろ	0	3
風呂かまど	0	0
炉	0	0
ボイラー	0	0
こたつ	0	0
ストーブ	0	1
煙突・煙道	0	0
排気管	0	0
焼却炉	0	0
電気機器	1	2
電気装置	1	1
電灯・電話等の配線	4	2
配線器具	0	0
灯火	0	0
火遊び	0	0
マッチ・ライター	0	1
たき火(※別記1)	1	16
溶接機・溶断機	2	0
内燃機関	0	0
取灰	0	0
火入れ	0	0
放火	1	0
放火の疑い	0	1
その他(※別記2)	13	9
不明	3	8
合計	28	47

※別記1

たき火欄内訳	5年度	4年度
たき火(焼却火)	0	8
虫焼火	1	8
合計	1	16

※別記2

令和4年度の出火原因、その他欄の内訳

- ・その他の移動可能な電熱器×2
- ・金属とコンクリート床との衝撃火花
- ・ブレーキライニング
- ・火工品(煙火を除く)
- ・線香
- ・火のついたゴミ
- ・バーナー
- ・その他の裸火(器に入っていないもの)

令和5年度の出火原因、その他欄の内訳

- ・粉碎機の火花
- ・金属と金属との衝撃の火花
- ・炭火
- ・ブレーキライニング×2
- ・ガスフライヤー
- ・金属粉×2
- ・衝突の火花
- ・その他の固定の電熱器
- ・その他の移動可能な電熱器
- ・赤熱した切粉
- ・その他の静電スパーク

救急救助課

1 救急救助関係

令和5年度中の救急出場件数は4,437件、搬送人員は4,005人で、前年より出場件数は34件減少、搬送人員は67人減少となった。

1日の平均出場件数は12.2件で、市民約16.6人に1人が救急車を要請したことになる。

令和5年度中の救助出動件数は73件で、前年より8件減少した。

(1) 救 急

ア 発生地区別出場件数

地区	年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
出場件数		4,437	4,471	3,908
三 木		1,279	1,349	1,110
三木南		424	417	348
別 所		370	383	383
志 染		318	277	288
細 川		153	152	144
口吉川		107	89	82
緑が丘		460	466	432
自由が丘		612	655	551
青 山		220	215	155
吉 川		450	432	377
高 速 道		39	29	29
そ の 他		5	7	9

イ 事故種別救急出場件数

事故種別	年度	令和5年度	令和4年度	増 減
火 災		8	14	△6
自然災害		0	0	0
水 難		0	2	△2
交通事故		243	254	△11
労働災害		83	77	6
運動競技		70	42	28
一般負傷		772	798	△26
加 害		13	20	△7
自損行為		27	45	△18
急 病		2,844	2,881	△37
その他	転院搬送	367	333	34
	医師搬送	0	0	0
	資機材搬送	0	0	0
	そ の 他	10	5	5
計		4,437	4,471	△34

△印は減少

ウ 傷病程度別救急搬送人員

(単位：人)

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	死亡				3	1		2		3	45	
重症	1			8	3	1	1		3	72	11	100
中等症	1			40	25	11	233	1	8	918	342	1,579
軽症	3			165	51	56	448	8	5	1,523	13	2,272
その他												
計	5	0	0	216	80	68	684	9	19	2,558	366	4,005

エ 事故種別年齢別搬送人員

(単位：人)

事故種別 年齢別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
新生児(28日未満)	2				2
乳幼児(28日～6歳)	139	1	34	3	177
少年(7歳～17歳)	93	25	16	45	179
成人(18歳～64歳)	589	130	124	174	1,017
高齢者(65歳以上)	1,735	60	510	325	2,630
計	2,558	216	684	547	4,005

オ 性別科目別搬送人員

(単位：人)

科目別	外科		整形外科		脳神経外科		内科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人員	149	77	291	369	336	274	1,171	994	108	103	1	3
科目別	産婦人科		眼科		耳鼻科		泌尿器科		その他		合計	
性別	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人員	16		18	2	12	8	39	21	6	7	2,131	1,874

カ 現場到着所要時間別救急出場件数 (覚知～現場到着)

所要時間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均時間 (分)
	急病	12	168	1,926	690	48	2,844
交通事故	1	13	129	88	12	243	10.3
一般負傷	3	44	510	196	19	772	9.1
その他	5	98	355	107	13	578	8.3
計	21	323	2,920	1,081	92	4,437	8.9

キ 収容所要時間別搬送人員（覚知～病院収容）

所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分 未満	120分 以上	計	平均 時間 (分)
	急病		21	467	1,734	319		
交通事故			11	137	68		216	52.3
一般負傷		4	81	438	157	4	684	48.6
その他		4	117	382	44		547	40.2
計		29	676	2,691	588	21	4,005	44.1

(2) 救助

ア 救助出動状況

	単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
		出動件数	件	73	81	86
活動件数	件	52	50	58	49	45
救助人員	人	36	39	43	36	38
出動台数	台	203	232	260	247	198
出動人員	人	581	677	840	723	547

イ 事故種別出動状況

	単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
		火災	件	7	5	8
交通事故	件	17	25	25	30	25
水難	件	0	2	2	1	3
機械による事故	件	0	3	3	0	1
建物等による事故	件	44	41	42	33	33
その他	件	5	5	6	8	2
計	件	73	81	86	77	67